ワークシート8.2

b．主観的情報と客観的情報に分ける

|  |
| --- |
| 主観的情報（subjective data：S） |
|  |
| 客観的情報（objective data：O） |
|  |

c．栄養評価と栄養診断

**栄養診断と栄養診断報告（PES）文の作成**

（1）栄養診断コードのリストアップ，栄養診断の根拠と原因や要因の整理

①　該当する栄養診断コードを全て書き出す

②　栄養診断の根拠となる情報を**ワークシート8.2 のb** の「客観的情報（objective data：O）」や**ワークシート8.1 のc**

での栄養評価から抽出して「栄養診断の根拠（signs/symptoms：S）」に書き出す

③　書き出した栄養診断コードと対応する「栄養診断の根拠」を線で結ぶ．

④　「 栄養診断の根拠」の原因や要因についての情報を**ワークシート8.2 の b** の「主観的情報（subjective data：S）」

から抽出して「原因や要因（etiology：E）」に書き出す

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 栄養診断コード  （problem or nutrition  diagnosis label：P） | 栄養診断の根拠  （signs/symptoms：S） | 原因や要因  （etiology：E） |
| 例：  炭水化物摂取量過剰 | 客観的情報（objective data：O）  から抽出  随時血糖高値 | 主観的情報（subjective data：S）  から抽出  外食が多く主食量が多い食習慣 |

（2）栄養診断報告（PES 報告）の作成

PES 報告として「S の根拠に基づき（S が認められることから等），E が原因となった（E が関係した，E による　等），P と栄養診断する．」の文言を完成させる．

|  |  |
| --- | --- |
| S：栄養診断の根拠 | であることから， |
| E：原因や要因 | を要因とする， |
| P：栄養診断コード | と栄養診断する． |

栄養診断コード１つにつきPES 報告を1文とすること．2つ以上の栄養診断コードをまとめて1文のPES 報告を作成しない．

d. 栄養介入計画

PES 報告とリンクさせた「ひとこと計画」を作成する．PES 報告が複数ある場合は， PES 報告ごとに介入計画を作成する．

|  |  |
| --- | --- |
| Mx）モニタリング計画 | S の内容とリンク |
| Rx）栄養治療計画 | E の内容とリンク |
| Ex）栄養教育計画 | E の内容とリンク |